

第七次甲府市総合計画説明会 会議録（住吉地区）

日 時	令和8年7月13日（月）午後7時00分～午後8時10分
会 場	リッチダイヤモンド総合市民会館 大会議室
参 加 者	89名（市長等及び関係職員含む）
次 第	1 市長説明 2 意見交換 3 地区からの挨拶
意見交換記録	
質問	・自治会未加入者のごみ集積所の利用について 10年前の説明会でマンホールトイレを要望したところ、自治会館に設置していただきありがたいと思っている。 自治会を抜ける人が多い中、自治会を抜けても10軒ほど集まればごみの集積所を作れると聞いたが、市でそのようにしているのか。退会者も収集の手間も増え、本末転倒になっているが、市の考えを伺う。
環境部長	日頃より、自治会役員の皆様をはじめ、地域の皆様には、清掃や集積所の維持管理等にご協力いただき、お礼を申し上げます。 自治会未加入者の集積所の利用が問題となっており、他の地域でも同様の声があることは認識をしている。こうした中で、集積所の利用等の相談については、各地区に応じて維持管理の手法など様々なケースがあることから、まず環境部に連絡いただきたい。一方で未加入者だけの集積所については、収集の効率化を考え、改めて検討し対応していきたい。
質問	自治会に入らない人が増えてきている中、自治会に入らないとごみが捨てられないということは、自治会加入の最後の砦だと思っている。そうした市のやり方は、自治会の衰退につながるのではないか。
環境部長	ごみ集積所に係る自治会の管理業務については、他都市においてもそういった問題があり、地域によっては、裁判までやっているケースがあることも認識をしている。市としては、一般廃棄物処理計画に基づき、ステーション方式、それぞれの集積所で回収をするという方法をとっている中で、ごみは誰しみが

質問	排出するものであり、市としては、まずは適正にごみの収集を行うというところをご理解いただきたい。他都市での対応状況など注視しながら、地域に寄り添った対応をしていく。 ・通学路における危険箇所の情報提供について 地区内に住む子どもたちが伊勢小学校や南中学校に通学する際に、はしゃいで急に道路に飛び出して運転中にヒヤットとする場面があるとの声を耳にした。 道路標示による運転者への注意喚起や学校での子どもたちへの指導などを実施していただいているが、自治会内での回覧を活用して運転者向けの注意喚起を行えば、地域住民が安心して子どもたちの登下校を見守ることができると思う。 登下校に利用する通学路や、多くの子どもが通行する箇所など、注意すべき場所を地図に表示し提供してもらえないか。
樋口市長	子どもたちが安全・安心に通学できるよう、児童生徒に交通安全指導や通学路の注意の必要な箇所を周知するとともに、とりわけ小学校では、保護者や地域ボランティアの協力をいただきながら、登下校時の見守り活動等で、児童の安全確保に取り組んでいる。 こうした中、本市では、交通管理者である警察や、国・県等の道路管理者、本市教育委員会による通学路の合同点検を実施し、必要な対策について協議を重ね、グリーンベルトの新設・再塗装のほか、学童注意などの路面表示やカーブミラーの設置を行っている。また警察に対しては、交通取締りをはじめ、横断歩道や一時停止線の新設等、通学路の安全対策を要請するなど、連携して子どもたちの安全な歩行環境の確保に努めており、こうした取組は、甲府市通学路安全推進連絡会議において、その進捗状況等の確認を行い、ホームページを通じて公表してきたところである。 ご質問の児童の横断や通行が多い通り、車の減速が必要な交差点などの「通学路における注意すべき箇所を表示した地図」を、自治会内で回覧いただくことは、地域をはじめ多く方に認識され、注意喚起につながることから、広く周知できるよう取り組んでいきたいので、改めて自治会の皆様と協議させていただく。

質問	・自治会加入促進の取組について ごみ集積所の清掃活動、防犯街路灯の維持管理費や側溝清掃、消防団の分担金など、自治会未加入者も恩恵を受ける活動について加入・未加入の不公平感がある。行政では自治会加入を促進するためどのような取組を行っているのか。また、未加入者がごみ集積所を利用する場合は、対価を求めることはできるのか。加入者と未加入者の主張が折り合わない時は、市は介入してくれるのか、教えていただきたい。
市民部長	自治会加入率は、人口減少や少子高齢化の進行に加え、価値観やライフスタイルの多様化などを背景として低下傾向にあるため、市役所窓口での転入手続きや新築住宅の建築確認申請の際などに加入促進チラシを配布するとともに、自治会連合会や不動産関係団体と連携し、アパートの新規入居者などに加入の働きかけを行っている。 また、広報誌や市ホームページ、公式LINE等を通じ、自治会が担う住民相互のふれあいや交流、子ども・高齢者の見守り、環境美化、防災・防犯などの様々な活動とその役割といった自治会活動の重要性を継続的に情報発信し、自治会への関心を高めるよう努めている。 加えて、中長期的な視点に立ち、高校生や大学生を対象に「協働のまちづくり」に関する出前講座を実施するなど、地域活動や地域課題について学ぶことにより、若い世代が地域に関心を持つ機会を創出している。 今後も、自治会への加入促進を図り、加入者・未加入者間の不公平感の軽減につなげるとともに、自治会活動の持続性の維持・向上に努めていくので、引き続きご協力いただきたい。 なお、自治会内の取り決めについては、行政としては介入できない部分である。行政は直接指導できる立場ではないため、市が実施している暮らしの法律相談等を活用いただきたい。
環境部長	自治会未加入者のごみ集積所の利用に関しては、集積所の維持管理の手法などについて、まず当事者間で協議していただき、必要に応じて環境部に連絡いただければ、相互の調整をし、理解を得られるよう努めていく。対価については、市としても他

	都市の状況・動向等を注視していく。
質問	未加入者が集積所にごみを出すにあたり、加入者の自治会費のせめて半分でも納めてもらいたいという働きかけは、裁判までいかないと行政は踏み込めないということか。
市民部長	大前提として、自治会は地域住民の自主的な任意の組織である。ごみの関係、会費や役員の運営方法等については、自治会の中での協議で決めていただくことが基本となるので、どうしても行政で関われる部分と関われない部分が出てくる。市としても相談体制はあり、他の自治会の様子や取組等の話はできるので、またご相談いただきたい。
質問	自治会未加入者のごみ出しモラルが低いことが続くと、市全体への悪循環につながる。未加入者をつくらないためには、どうしたらいいのか。高齢化により河川の掃除や公園の草むしりも大変であり、加入者にしわ寄せが来ているという現実を、市も知ってほしい。
環境部長	自治会未加入者の方のごみの集積所に出す排出方法については、本市にもそういったお声が届いている。 その対策についても、ご相談いただければ、看板の設置や未加入者への指導、また、組回覧ではなく直接訪問し、チラシ等のポスティングをするなどの個別対応もできる限りやっていくので、ご理解をお願いする。
市民部長	多様な主体と連携した協働のまちづくりを進めている中、自治会は中心的な役を担ってもらっている重要なパートナーである。行政と地域がそれぞれの役割を担いながらまちづくりをするという基本的な考え方がある。一方で、自治会未加入者の協力は得られない、高齢化や担い手不足で側溝清掃等の作業等が行えないなどの場合は、要望いただければ、管理者として行政の方で対応できるものについては、対応していく。
質問	・学生の就職に関する取組について 身内の者が都内の大学で専門性の高い勉強をしている。多く

総務部長	の自治体から就職の誘いがあるそうだが、甲府市もそのような取組をしているのか。 甲府市にも様々な職種の職員がおり、例えば環境部には、水質や大気汚染を確認するような「化学職」の職員もいる。こうした職員については、年ごとに必要な定数の中で募集し、採用している。応募要領をホームページに掲載することはもとより、大学や養成学校などにもお知らせしながら、募集しているところである。
樋口市長 (まとめ)	貴重な地域の実情・課題を話していただき、ありがとうございました。 私も甲府で生まれ育ち、議員や市長になる前は地元で自治会副会長や環境衛生部長の経験があり、未加入者のごみ出しに係るモラルで苦労したことがある。この話は大変重要な問題であり、個別対応が必要なため、よく話を聞かせていただき、できる限りの対応をしていきたい。 総合計画は、最上位計画であり、本日は特徴的な部分のみ説明をしたが、具体的には、この総合計画の下に子育て支援計画とか、高齢者福祉計画とか、多文化共生計画とか、個別の計画が位置付いており、個別の事業展開について何かあれば、直接質問いただくほか、自治会連合会や議員を通してお尋ねいただきたい。 本日は多くの方に来ていただき感謝申し上げます。課題については、一緒になって解決できるよう努力していくので、よろしくお願いします。
地区からの挨拶要旨	
住吉地区自治会連合会副会長	説明会を開催していただき、ありがとうございました。丁寧に説明いただき、また意見交換の機会をいただき感謝する。 また、住吉地区の皆様、本日は出席いただきありがとうございました。本日の説明会が、住みよい地域となるための一助になれば幸いである。